

多くの野菜に使える



クミアイ

浸透移行性

総合殺菌剤

トップジンM[®] 水和剤



キャベツ菌核病



キャベツ根朽病



レタス菌核病



レタスビッグベイン病



ブロッコリー菌核病



ナス菌核病



トマト菌核病



インゲンマメ菌核病



バレイショ菌核病



ハクサイ白斑病



メロンつる枯病



キュウリつる枯病



スイカ炭疽病



イチゴうどんこ病



ラッキョウ乾腐病



ネギ萎凋病



ニラ白斑葉枯病



アスパラガス茎枯病



オクラ葉すす病



セリ葉枯病



ラッカセイ黒渋病



サトイモ黒斑病



サツマイモ基腐病※



ヤマノイモ炭疽病

※病害写真提供:生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」より

■適用病害と使用方法(抜粋) * 印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数(制限)を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	チオファネートメチル	
キャベツ	根朽病、株腐病	1,000	100~300ℓ/10a	3日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
	菌核病	1,000~1,500		14日			
ブロッコリー	菌核病、根朽病	2,000	100~300ℓ/10a	前日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
カリフラワー	菌核病	1,500~2,000		7日			
はくさい	菌核病	1,500	100~300ℓ/10a	7日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
セルリー	白斑病、炭疽病			60日			
せり	葉枯病	14日	100~300ℓ/10a	前日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
かぼちゃ	白斑病	1,000		7日			
レタス	ビッグベイン病、菌核病	1,500	1.5ℓ/m ²	45日	1回	4回〔種子への処理は1回 は種後は1回 灌注は1回、散布は2回〕	灌注
	菌核病、灰色かび病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	7日	2回		3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕
	すそ枯病	1,500		21日	1回	2回	
非結球レタス	菌核病、灰色かび病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	5回〔種子への処理は1回 は種後は5回〕	散布
にら	白斑葉枯病、乾腐病	1,000		3ℓ/m ²			
すいか	炭疽病、菌核病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	5回〔種子への処理は1回 は種後は5回〕	散布
メロン	つる枯病、陥没病、菌核病			5回			
きゅうり	菌核病、黒星病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	前日	5回	6回〔種子への処理は1回 は種後は5回〕	散布
うり類(漬物用)	炭疽病、うどんこ病			3回			
にがうり	灰色かび病、つる枯病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	前日	5回	6回〔種子への処理は1回 は種後は5回〕	散布
にがうり	炭疽病、斑点病			3回			
トマト、ミニトマト	菌核病、葉かび病、灰色かび病*1	1,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
なす	菌核病、黒枯病、灰色かび病			1回			
アスパラガス	茎枯病、立枯病	1,000	100~300ℓ/10a	収穫開始7日前*2	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
れんこん	褐斑病	1,500		前日			
オクラ	葉すず病	1,500	100~300ℓ/10a	収穫開始21日前*2	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
いちご	うどんこ病	1,000		前日			
	萎黄病	300~500	3ℓ/m ²	収穫開始7日前*2	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
	株冷蔵栽培の株冷蔵前	3回	3回	3回			
食用ゆり	鱗茎さび症	50	—	収穫開始7日前*2	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
	萎凋病、黒腐菌核病	1,000	100~300ℓ/10a	株冷蔵栽培の株冷蔵前			
	小菌核病、小菌核腐敗病	1,000	100~300ℓ/10a	収穫開始7日前*2	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間株浸漬 1時間苗根部浸漬
	萎凋病、黒腐菌核病	250	30×60cm、 土壌量約5ℓ 当り0.5~1ℓ	定植直前			
	小菌核腐敗病	20	—	定植直前	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	5分間苗根部浸漬
	萎凋病、小菌核腐敗病	200	—	定植直前			
葉たまねぎ	黒点葉枯病	1,000	100~300ℓ/10a	14日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
たまねぎ	小菌核病	500~1,000	100~300ℓ/10a	前日	6回〔定植後は5回〕	7回〔種子への処理は1回 は種後は1回 苗根部浸漬は1回 無人航空機散布は3回 散布は5回〕	5分間苗根部浸漬
	灰色腐敗病	500	—	定植直前	6回〔定植後は5回〕	7回〔種子への処理は1回 は種後は1回 苗根部浸漬は1回 無人航空機散布は3回 散布は5回〕	5分間苗根部浸漬
食用べにばな(花)	炭疽病	1,500	100~300ℓ/10a	14日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
みつば	菌核病	2,000	100~300ℓ/10a	14日			
みしまさいこ	炭疽病	1,000	100~300ℓ/10a	14日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
たらき	芽枯症	2,000	0.1~0.3ℓ/m ²	14日			
	そうか病	1,500	200~700ℓ/10a	伏せ込み前(60日)	2回	3回〔伏せ込み前は2回 伏せ込み後は1回〕	散布
らっきょう	乾腐病	1,000	700ml/m ²	7日	3回	3回	株元灌注
しょうが	いもち病、白星病			7日			
食用ざく	褐斑病	1,500	100~300ℓ/10a	28日	2回	3回〔種子への処理は1回 は種後は2回〕	散布
ズッキーニ	うどんこ病	4,000~6,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
ピーマン	黒枯病、炭疽病			4,000~6,000			
ししとう	黒枯病	10,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
だいず	紫斑病	種子重量の0.5%	—	は種前	1回	4回〔種子への処理は1回〕	粉衣
		700~1,500	—	14日	4回	4回〔種子への処理は1回〕	粉衣
		700~1,000	—	14日	4回	4回〔種子への処理は1回〕	粉衣
えだまめ	菌核病	2,000	100~300ℓ/10a	7日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
あずき	菌核病、輪紋病、炭疽病	700~1,000	100~300ℓ/10a	14日	4回	5回〔種子への処理は1回 は種後は4回〕	散布
いんげんまめ	角斑病、菌核病、苗立枯病	700~1,500	100~300ℓ/10a	7日	4回	5回〔種子への処理は1回 は種後は4回〕	散布
えんどうまめ	炭疽病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	7日	4回	5回〔種子への処理は1回 は種後は4回〕	散布
美えんどう	褐斑病、褐紋病、灰色かび病	2,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
さやえんどう	褐斑病、黒渋病、灰色かび病	1,500~2,000	100~300ℓ/10a	前日	3回	4回〔種子への処理は1回 は種後は3回〕	散布
らっかせい	褐斑病、黒渋病、灰色かび病	1,500	100~300ℓ/10a	7日	4回	5回〔種子への処理は1回 は種後は4回〕	散布
ばれいしょ	菌核病	1,000~1,500	100~300ℓ/10a	21日	5回	5回〔種いもへの処理は1回〕	散布
かんしょ	基腐病	200~500	—	貯蔵前~伏せ込み前	1回	1回	30分間採苗用 種いも浸漬 20~30分間種いも 又は苗基部浸漬 20~30分間 種いも浸漬
さいとも	黒斑病	200~500	—	植付前	1回	1回	30分間採苗用 種いも浸漬 20~30分間種いも 又は苗基部浸漬 20~30分間 種いも浸漬
さいとも(葉柄)	黒斑病	200~500	—	植付前	1回	1回	30分間採苗用 種いも浸漬 20~30分間種いも 又は苗基部浸漬 20~30分間 種いも浸漬
やまのいも	葉渋病、炭疽病	800	100~300ℓ/10a	7日	5回	5回	散布
やまのいも(むかご)	葉渋病、炭疽病	800	100~300ℓ/10a	45日			
てんさい	褐斑病	2,000~3,000	100~300ℓ/10a	7日	5回	5回	散布
	菌核病	2,000~3,000	100~300ℓ/10a	21日			
なたね	雪腐菌核病	1,000	100~300ℓ/10a	根雪前	3回〔開花後は2回〕	3回〔開花後は2回〕	散布

*1 トマト・灰色かび病については、このほかに常温煙霧の登録があります。
*2 収穫開始後は使用しないでください。

上記以外に果樹・穀類・特用作物・花など、多くの作物・病害に登録があります。

効果薬害等の
注意(抜粋)

- ボルドー液との混用は、さけてください。
- 本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種初への処理及び塗布処理は除きます。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の
注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
 - 使用の際は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに、衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意してください。
- 保管:密封し、直射日光をさけ、食品と區別して、小児の手の届かない冷涼乾燥した所に保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 防除日誌を記載しましょう。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

